

令和4年度シラバス

文化学園大学保育専門学校

科目名			授業の種類		授業担当者	
保育・教職実践演習			演習		倉科深陽・下平正恵・小池 悟・ 戸谷佳子・高橋ユウエン・杉村僚子・宮 原千秋・栗原博士	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修	
2	2	60	30	後期	幼免:必修	保育士:必修
〔授業の目的・ねらい〕						
・保育の学習・教職課程の総まとめとして、今までに学んだ科目の履修状況を踏まえながら、幼稚園教諭・保育士として大切な使命感・責任感・子どもに対する愛情や、社会性・対人関係などの能力をはじめ、保育内容の指導力に関する知識技能を修得させ、人間性豊かな学生を育成する。						
〔授業全体の内容と概要〕						
・保育者を目指す学生として、来春から即戦力として存分に発揮できるよう小グループに分け技能を磨き、能動的に学ぶ授業と時代のニーズに合った必要な経験(実習)を通して理論と経験を組み合わせ「保育への自分の思いや考え」をしっかり持つようになる。						
〔受講上の注意事項〕						
・小グループで実施。内容に応じて全グループ合同で実施。 ・あらかじめ授業内容を担当教員に確認すること。						
〔使用テキスト〕			〔評価基準〕			
適宜、資料を配布する。			実技指導の結果等を踏まえ単位認定を行う。 ・ レポート等の提出物(60%) ・ 実習や授業への意欲・態度(40%)			
〔授業の日程と各回のテーマ・授業内容〕						
回	項目		授業内容			
1	ガイダンス		発達障がい児支援施設の事前学習			
2	発達障がい児支援施設の実習		9～10人のグループで1日実習			
3	〃		〃			
4	〃		〃			
5	視覚教材の製作		パネルシアター・エプロンシアター・手袋シアターなど、視覚教材の製作			
6	〃		〃			
7	視覚教材の発表		作品の紹介と実演			
8	対人関係・コミュニケーションについて		9～10人のグループで心理学に基づいた性格検査や、コミュニケーションのあり方についての演習。			
9	〃		〃			
10	園外保育を想定とした演習		小グループで実際の道の歩き方、子どもの誘導方法や事故防止・事件防止のための配慮事項を学ぶ。また、園外保育での遊びを考える。			
11	〃		〃			
12	ピアノ技能の補完		リズムや音階、和音を応用した曲のアレンジ法の習得			
13	〃		〃			
14	懇談会の実践		実際の懇談会を想定し、場面設定や話の聴き方・伝え方の模擬演習			
15	〃		〃			

16	集団あそびについて	集団あそびの意義や種類、あそびの工夫について学び、活動案を作成する。
17	〃	〃
18	造形の技術の補完	様々な造形物の制作
19	〃	〃
20	子どもと環境	保育の環境を広い視野で考える。
21	〃	〃
22	子どもと言葉	多言語を使つての保育内容を考える。
23	〃	〃
24	就職先での挨拶を考える	新任として、子ども・保護者・職員に向けての挨拶をする機会があることを想定し、その内容を考える。
25	保育の環境整備について	園の外回り・保育室・トイレ等の環境について考え、整理整頓や清掃について学ぶ。
26	現場の方の講話	保育所・こども園で活躍されている方の講話から学ぶ。
27	〃	幼稚園で活躍されてる方の講話から学ぶ。
28	〃	児童養護施設・障がい者施設で活躍されている方の講話から学ぶ。
29	保育者1年目の心構え	1年目の保育者として、とくに気を付けたいこと、つまづきやすいことについて考える。
30	まとめ	授業内容のまとめと今後の課題
実務教員としての経歴		
実務経験と授業の関連		